

曾田三郎先生の研究の歩み (2012年3月3日現在)

1970年

【書評】

菊池貴晴『現代中国革命の起源——辛亥革命の史的意義』（巖南堂、1970年）『史学研究』第108号（共著）、10月

1972年

【書評】

横山英『中国近代化の経済構造』（亜紀書房、1972年）『史学研究』第117号、10月

1974年

【論文】

「湖北省における張之洞の産業政策」『史学研究』第121・122合併号、6月

1975年

【論文】

「商会の設立」『歴史学研究』第422号、7月

1976年

【論文】

「辛亥革命における湖南独立」『史学研究』第133号、9月

1978年

【論文】

「洋務政策の展開と中国の近代化」『史学研究』第139号、4月

1979年

【論文】

「湖南における鉄道利権の回収運動」『地域文化研究』第4巻、3月

「20世紀初頭における中国の鉄道資本——鉄道利権回収運動との関連において」『アジア経済』第20巻第5号、5月

1980年

【書評】

小林文男『中国現代史の課題』（勁草書房、1979年）『史学研究』第147号、4月

1981年

【論文】

「中国における近代製糸業の展開」『歴史学研究』第489号、2月

「中国における製糸女工の状態」『地域文化研究』第6巻、2月

1982年

【論文】

「江浙地方における繭取引について」『史学研究』第156号、7月

「楊度研究ノート」『広島大学東洋史研究室報告』第4号、10月

3月 広島中国近代史研究会例会始まる。

- | | | | |
|-----|-------|------|---------------------|
| 第1回 | 3.26 | 金子肇 | 近年の中国における近代史のとらえ方 |
| 第2回 | 4.28 | 笹川裕史 | 近年の中国における辛亥革命研究の特徴 |
| 第3回 | 5.27 | 水羽信男 | 中国資本主義の発展について |
| 第4回 | 6.24 | 加田宏一 | 近年の中国における立憲派研究の特徴 |
| 第5回 | 7.29 | 末永幸二 | 資産階級革命派について |
| 第6回 | 10.16 | 楠瀬正明 | 南京臨時政府成立過程における中央と地方 |
| 第7回 | 12.9 | 真鍋篤行 | 各省独立の過程について |

1983年【論文】

「五・四運動と国共関係の展開」今堀誠二編『中国へのアプローチ』勁草書房、10月

-
- | | | | |
|------|------|------|----------------------------------|
| 第8回 | 5.21 | 水羽信男 | 近年日本における抗日民族統一戦線史研究の動向について |
| 第9回 | 6.18 | 笹川裕史 | 湖南省における省自治運動と省憲法構想 1920.6～1923.5 |
| 第10回 | 7.21 | 加田宏一 | 日清戦争直後における鄭観応の富国論 |
| 第11回 | 9.24 | 小瀬一 | 清末中国市場における外国布の位置 |
| 第12回 | 11.5 | 横山良樹 | 小林一美氏の論文によせて |

1984年

【論文】

「生糸の世界市場における上海器械糸」『史学研究』第163号、6月

- 第 13 回 3.24 田中仁 抗日統一戦線研究の諸問題——Y 氏との交流に基づいて
- 第 14 回 4.28 楠瀬正明 清末地方自治論
- 第 15 回 5.26 金子肇 1920 年代前半における各省法团勢力と北京政府
- 第 16 回 6.23 曾田三郎 辛亥革命前の諸改革と湖南
- 第 17 回 7.21 中山義弘 浙江辛亥革命における政治的展開と国家統一
- 第 18 回 10.13 田中仁 《中国抗日根拠地歴史国際学術討論会》に参加して
- 第 19 回 11.17 曾田三郎 上海器械製糸業の構造
- 第 20 回 12.22 笹川裕史・金子肇 中山大学・南京大学との学術交流に参加して

1985 年

【論文】

「辛亥革命前の諸改革と湖南」横山英編『中国の近代化と地方政治』勁草書房、4 月

【書評】

林拳百『近代南通土布史』（南京大学学报編輯部、1984 年）『史学研究』第 169 号、9 月

【その他】

「1985 年度歴史学研究会大会近代史部会黒田報告批判」『歴史学研究』第 549 号、12 月

-
- 第 21 回 2.23 加田宏一 《書評》Wellington K.K Chan, *Mandarins, and Modern Enterprise in Late Ch'ing China*
- 第 22 回 3.9 水羽信男 生活派知識人の統一戦線運動と中国国民党
- 第 23 回 5.11 金子肇 中国近代史の基本線索をめぐる小論争の紹介と若干の検討
- 第 24 回 6.1 合評会 横山英編『中国の近代化と地方政治』
- 第 25 回 6.22 曾田三郎 《史料紹介》林拳百『近代南通土布史』
- 第 26 回 7.24 笹川裕史 1920 年代の湖南省政権と地方議会
- 第 27 回 10.1 水羽信男 生活派知識人と中国国民党
- 第 28 回 12.24 金子肇 近年の中国における近代資産階級研究——その簡単な紹介

1986 年

【論文】

「中国蚕糸業の発展と日本」『下関市立大学論集』第 30 巻第 2 号、9 月

-
- 第 29 回 4.26 笹川裕史・水羽信男・金子肇 国民党政権の性格をめぐる
—— *Republican China* 誌上の論争の紹介
- 第 30 回 5.31 加田宏一 輪船招商局と南京臨時政府
- 第 31 回 7.5 松重充浩 横山英編『中国の近代化と地方政治』の書評をめぐる
- 第 32 回 9.27 加田宏一 民国初期における招商局改組問題について
- 第 33 回 10.11 金子肇 上海資本家階級と国民党統治 (1927 - 1929)

- 第 34 回 11.22 丸田孝志 延安整風運動の研究
 第 35 回 12.6 曾田三郎・笹川裕史・金子肇 《書評》『五・四運動史像の再検討』

1987 年

【論文】

「江浙地方の繭取引における行・灶規制について——第一次大戦後の繭行制度の動揺」『下関市立大学論集』第 31 巻第 1・2 号合併号、9 月

【書評】

中央大学人文科学研究所編『五・四運動史像の再検討』（中央大学出版部、1986 年）『歴史学研究』第 572 号（共著）、10 月

-
- 第 36 回 1.17 松重充浩 奉系軍閥下の反日運動（その 1：1921～1923）
 第 37 回 2.27 水羽信男・松重充浩 《書評》俞辛焞『満州事変期の中日外交史研究』
 第 38 回 5.2 貴志俊彦 北洋新政の財政・金融政策について——1902.8～1904 初
 第 39 回 5.23 笹川裕史 《書評》中国現代史研究会編『中国国民政府史の研究』
 第 40 回 6.27 松重充浩 保境安民期（1924.9～25.5）における張作霖地域権力
 第 41 回 7.18 林啓彦（香港浸会学院） 盧梭民約論と近代中国民主共和思想之興紀
 第 42 回 10.4 水羽信男 抗日運動の諸潮流
 笹川裕史 江西における国民党支配

1988 年

【論文】

「上海女子工業進徳会の結成計画と製糸女工の活動」『下関市立大学論集』第 32 巻第 1 号、5 月

【その他】

『外務省外交史料館所蔵諮議局・省議会関係史料目録』広島大学文学部東洋史学研究室、2 月

-
- 第 43 回 4.24 曾田三郎 上海女子工業進徳会の結成計画と製糸女工の活動
 第 44 回 5.29 水羽信男 最近年の中国知識人研究をめぐって
 第 45 回 6.26 富澤芳亜 1930 年代の陝西省における綿業の発展
 第 46 回 7.25 岸田修 民国初年の実業団体と革命派
 第 47 回 9.18 曾田三郎 1924 年の製糸女工争議と糸繭女工会の成立
 第 48 回 10.9 松重充浩 張作霖政権による地域統合について
 貴志俊彦 清末、天津の地方自治制度について
 第 49 回 11.27 金子肇 上海における店員婦商問題と中国国民党
 第 50 回 12.18 水羽信男 《書評》平野正『北京一二・九学生運動』

1989年

【書評】

章伯鋒『皖系軍閥與日本』（四川人民出版社、1988年）『東方』第98号、10月

-
- 第51回 2.19 富澤芳亜 恐慌下の中国紡織業研究をめぐって——日本における研究を中心に
第52回 4.30 松重充浩 保境安民期における張権力の社会的基盤の動向
——省議会・商会を中心に
第53回 7.12 齊福霖（中国社会科学院近代史研究所） 近十年来民国時期經濟史研究概況
第54回 7.22 富澤芳亜 綿紗統稅交渉における紡織業の動向
第55回 8.25 貴志俊彦・松重充浩・金子肇
《書評》『中国現代資産階級民主運動史』第1章～第3章
第56回 8.26 水羽信男 《書評》『中国現代資産階級民主運動史』第3章（続き）
第57回 10.30 水羽信男・田中仁
《書評》『中国現代資産階級民主運動史』第4章～第5章
第58回 11.4 貴志俊彦・松重充浩・金子肇
《書評》『中国現代資産階級民主運動史』第6章～第7章
第59回 11.5 丸田孝志 延安整風運動に関する最近年の研究
第60回 12.16 金子肇 〈ブルジョワ民主主義運動史〉と〈民国史〉との交渉
——『中国現代資産階級民主運動史』を素材として

1990年

【論文】

「清末における「商紳」層の形成と近代工業の生成」『史学研究』第187・188合併号、5月

【書評】

浜下武志『近代中国の国際的契機』（東京大学出版会、1990年）『エコノミスト』12月11日号

-
- 第61回 2.18 富澤芳亜 国民政府の綿紗統稅政策の展開
第62回 4.14 横山英 六・四事件と中国近代史像の再構成
第63回 6.17 貴志俊彦 北洋新政と地方制度の改革
——天津市における地方議会成立をめぐって
第64回 7.21 松重充浩 張作霖地域権力の成立
第65回 8.27 笹川裕史 1930年代国民政府の江西省統治の土地税制改革
～28 金子肇 笹川氏の国民党地方統治研究に関する若干のコメント
——近代中国における国民統合との関連において
貴志俊彦 《書評》彭堅汶『孫中山三民主義建国與政治發展理論之研究』
松重充浩 《書評》二宮宏之『全体を見る眼と歴史家たち』
曾田三郎 国民統合をめぐる諸問題について
第66回 12.22 曾田三郎 清末における商戦論の展開と官・商関係
富澤芳亜 最近年の国民政府期のタバコ産業研究の動向

1991年

【論文】

「近年の中国における辛亥革命研究について」『季刊中国』第26号、9月

「1924年の上海製糸業における労働争議と糸繭女工会の成立」『経済研究』第42巻第4号、10月

「清末における「商戦」論の展開と商務局の設置」『アジア研究』第38巻第1号、10月

-
- | | | | |
|------|-------|------|--------------------------------|
| 第67回 | 3.22 | 丸田孝志 | 延安整風運動と陝甘寧辺区の政権 |
| | | 金子肇 | 日本上海史研究会についての紹介 |
| | | 貴志俊彦 | 上海市档案馆の資料整理情況について |
| 第68回 | 4.20 | 中田昭一 | 南京国民政府期陝西省における水利建設について |
| 第69回 | 6.29 | 吉原伸行 | 南京国民政府下の国民党派閥の動向について |
| 第70回 | 8.27 | 笹川裕史 | 国民政府の農村土地政策——浙江省を中心に |
| | ~28 | 水羽信男 | 中国革命最終段階における民主同盟の国民統合論 |
| | | 中山義弘 | 孫文における国民統合の論理構造 |
| | | 楠瀬正明 | 中国研修を終えて |
| 第71回 | 10.13 | 貴志俊彦 | 辛亥革命期、内モンゴル地域社会における政治的対抗 |
| | | 丸田孝志 | 中国共産党の辺区統治について——軍事動員工作を中心に |
| 第72回 | 12.8 | 松重充浩 | 張作霖による東三省支配の達成——孟恩遠吉林省督軍更迭を中心に |
| | | 横山英 | 国民革命期の中国共産党の国家統合構想 |

1992年

【著書】

『中国の近代化と政治的統合』（共編著）溪水社、12月

書評 西村成雄『アジア研究』第40巻第2号、1993年11月

塚本 元『史学研究』第204号、1994年6月

-
- | | | | |
|------|------|------|--|
| 第73回 | 3.17 | 来新夏 | 民初軍閥史研究中的幾個理論性問題 |
| | | 焦静宜 | 論辛亥革命后華北地区農村社会習俗的变化 |
| 第74回 | 4.11 | 楠瀬正明 | 中華民国の成立と臨時參議院 |
| | | 水羽信男 | 《書評》西村成雄『中国ナショナリズムと民主主義』 |
| 第75回 | 5.23 | 中田昭一 | 1930年代河北省の綿花生産・流通の改良事業について
——西河綿区を中心として |
| 第76回 | 8.27 | 金子肇 | 北京政府時期における江蘇省の実業政策 |
| | | 笹川裕史 | 台湾で史料調査に従事して |
| | | 富澤芳亜 | 上海・南京で史料調査に従事して |
| 第77回 | 10.3 | 松重充浩 | 營口・西義順の倒産
——張作霖地方政権の金融基盤確立過程と関連して |
| 第78回 | 12.3 | 水羽信男 | 中国における民主諸党派の統一戦線に関するノート |

3月 来新夏氏 (南開大学図書館学系)、焦静宜氏 (南開大学出版社) が広島大学を訪問、広島中国近代史研究会で講演。

1993年

【論文】

「清末の産業行政和上海商業界」『上海研究論叢』第9輯、8月

「關於近代上海縲絲業的展開」古厩忠夫等編『日本学者論上海史』復旦大学出版社、6月

【書評】

徐鼎新『上海總商会史 1902 - 1929』(上海社会科学院出版社、1991年)『東方』第145号、4月

小島淑男『近代中国の經濟と社会』(汲古書院、1993年)『歴史学研究』第663号(共著)、10月

第79回 7.4 富澤芳垂 銀団接管期の大生一廠

中田昭一 農村合作社と經濟的環境

第80回 7.24~25 《合評会》 横山英・曾田三郎編『中国の近代化と政治的統合』

第一部 総論 金子肇 国民統合と中国近代史像の再構成

曾田三郎 国民統合論の現状——西川長夫氏の研究に学ぶ

西村成雄 《書評》『中国の近代化と政治的統合』

第二部 各論 貴志俊彦 《清末新政～袁世凱政權》

笹川裕史 《袁世凱政權～国民政府期①》

水羽信男 《袁世凱政權～国民政府期②》

第81回 8.26 笹川裕史 戦後日本における中国国民政府(1927-1949)研究

第82回 10.9 金子肇 上海における工商同業公会の成立と国民政府

第83回 12.19 山腰敏寛 アメリカ広報委員会の中国における宣伝活動と五四運動

曾田三郎 国民国家形成史と社会史的研究——宮地正人氏の研究に学んで

1994年

【著書】

『中国近代製糸業史の研究』(単著) 汲古書院、1994年2月

書評 赤澤計真『新潟史学』第32号、1994年5月

井川克彦『史潮』第36号、1995年3月

飯塚靖 『アジア經濟』第36巻第4号、1995年4月

中田昭一『史学研究』第209号、1995年8月

【論文】

「日清・日露戦争と清末政治」『歴史評論』第532号、8月

- 第 84 回 6.11 松重充浩 辛亥革命後の吉林省政局
水羽信男 中国近代知識人論—— 1930 年代の羅隆基の言論活動を素材として
- 第 85 回 12.23 貴志俊彦 1994 年夏、中国における学术交流と資料調査の成果
金子肇 戦後日本における中国ブルジョワジー研究
水羽信男 日本における抗日統一戦線運動史研究

3月 広島大学文学部が東広島市に移転を完了

1995 年

【論文】

「上海人の形成と生活」古厩忠夫・高橋孝助編『上海史——巨大都市の形成と人々の営み』東方書店、5月

-
- 第 86 回 4.15 中田昭一 《書評》曾田三郎『中国近代製糸業史の研究』
金子肇 《書評》中村哲編『東アジア資本主義の形成』
富澤芳亜 《書評》中村政則ほか『戦時華中の物資動員と軍票』
- 第 87 回 7.15 坂井田夕起子 河南省政府の戦時体制と新県制
川島真 台湾・香港における文書公開の現状と中国外交史の展望
- 第 88 回 12.9 水羽信男 《書評》高橋孝助・古厩忠夫他『上海史』
笹川裕史 中国国民政府の農村土地制度と地域社会
——日中戦争前後の江蘇省を中心に

7月31日～8月9日 田中仁・笹川裕史・金子肇・水羽信男・松重充浩・貴志俊彦・富澤芳亜・中田昭一・坂井田夕起子の各氏とともに台湾・中央研究院、香港中文大学を訪問、学术交流を行う。

1996 年

【その他】

「横山英先生與中国近代史研究」『近代中国史研究通訊』第 21 期、3月

-
- 第 89 回 7.14 《全体討論》『中国近代化過程の指導者たち』をめぐって
金子肇 馮少山の「訓政」批判と「国民」形成
- 第 90 回 12.21 中西政治 上海都市行政史研究動向整理
坂井田夕起子 国民政府の地方財政と中原・河南

1997年

【著書】

『中国近代化過程の指導者たち』（編著）東方書店、2月

書評等 嵯峨隆 『中国研究月報』第51巻第9号、1997年9月

村田雄二郎 「国民国家論をめぐる覚書——曾田三郎編『中国近代化過程の指導者たち』に寄せて」『近きに在りて』第33号、1998年5月

【論文】

「徐潤——近代初期上海経済界の顔役」日本上海史研究会編『上海人物誌』東方書店、5月

「日本政治視察と清末省行政組織の改編」『広島東洋史学報』第2号、12月

【書評】

中井英基 『張謇と中国近代企業』（北海道大学図書刊行会、1996年）『アジア研究』第43巻第4号、7月

-
- | | | | |
|------|-----------|-------------|---|
| 第91回 | 6.28 | 土居智典 | 太平天国の乱以降、立憲運動期までの湖南の地方政治
についての研究動向
中西政治 民国期上海市政の近代化
——行政制度の合理化と人材供給に注目して |
| 第92回 | 8.4
～5 | 合評会
曾田三郎 | 曾田三郎編『中国近代化過程の指導者たち』
曾田三郎 日本政治視察と清末行政改革
貴志俊彦 アメリカにおける中国研究と資料館（その1） |
| 第93回 | 12.21 | 中田昭一 | 『銀行法』の公布と銀行経営
——1930年代における銀行の対工業投資の論理と構造 |

11月 中国社会科学院近代史研究所の曾業英・徐輝琪・関傑・王士花の各氏が広島大学を訪問。

11月 張玉法氏（台湾・中央研究院近代史研究所）が広島大学を訪問。

1998年

【論文】

「清末民初の官制改革と中央—地方関係」『シリーズ中国領域研究』第7号、1月

-
- | | | | |
|------|------|--------------|---|
| 第94回 | 3.7 | 佐藤尚子
谷淵茂樹 | 呉貽芳と中国ミッションスクール
清朝末期（1840-1911）における中国の対アジア外交について
——日本における研究成果を中心に |
| 第95回 | 5.23 | 丸田孝志
堀部圭一 | 陝甘寧辺区の記念日活動と農曆の時間
袁世凱政権行政組織に関する考察
——臨時約法体制から新約法体制への移行を中心に |
| 第96回 | 8.11 | 貴志俊彦
田中仁 | 天津のマスメディアと日中関係
1930年代転換期の中国政治と共産党——西安の事例を中心に |

- 第 97 回 10.24 金子肇 民初江蘇省における認捐制度と釐金改革
 汪輝 上海における日本の教育事業の開始とその対清朝認識
- 第 98 回 12.19 水羽信男 中国知識人の社会主義受容
 ——日本留学時代の施復亮を中心として
- 松重充浩 「満洲事変」直前の地方外交——万宝山事件と現地官僚
 銭金保 従駐日使館档案看汪精衛傀儡政權的「中日協力」(1943-1944)

12 月 銭金保氏（ハーバード大学歴史学博士課程）が広島大学を訪問、広島中国近代史研究会で講演。

1999 年

- 第 99 回 3.9 中田昭一 「北四行」形成に関する一考察
 吉仲健一 1890 年代前半における信局「連絡網」分布
- 第 100 回 7.18 衣保中 論中国東北社会演変
 土居智典 清末湖南省の地方財政——清理財政局財政説明書を素材に
 金子肇 《書評》深町英夫『近代中国における政党・社会・国家
 ——中国国民党の形成過程』
- 第 101 回 12.18 貴志俊彦 山東（済南・青島）考察班報告書
 小池聖一 経済提携の成立——日中関税協定成立の条件
 富澤芳亜 《書評》久保亨『戦間期中国<自立への模索>』
 丸田孝志 華北傀儡政權における記念日活動と民俗利用——山西省公署を中心に
 同 図書館情報（山西省図書館）

7 月 衣保中氏（吉林大学北東アジア研究所）が広島大学を訪問、広島中国近代史研究会で講演。

2000 年

【論文】

「政治的ナショナリズムと地方行政制度の革新」西村成雄編『現代中国の構造変動』3（ナショナリズム——歴史からの接近）東京大学出版会、3 月

「地方政治の革新と上海の紳商団体」日本上海史研究会編『上海——重層するネットワーク』汲古書院、3 月

- 第 102 回 3.25 坂井田夕起子 国民政府による全国的地方行政制度の模索
 ——全国内政会議を素材として
- 第 103 回 5.27 富澤芳亜 近代中国紡織技術者の日本認識——中国紡織学会と日本
 岳迅飛 日本の清末中国社会への影響
 ——『西国立志編』の三つの中国語訳を中心に
- 第 104 回 7.22 西村達哉 「南京十年」期における教育普及

- 第 105 回 12.16 中井智香子 1960 年代以降の香港人アイデンティティ形成過程
——教育社会学史からの一考察
貴志俊彦 帝国の「分身」の崩壊と「異空間」の創出
——第一次大戦時期の天津租界回収問題をめぐって

12 月 21 日～28 日 水羽信男・丸田孝志の各氏ともに中国社会科学院近代史研究所を訪問、学術交流を行う。

2001 年

【著書】

- 『近代中国と日本——提携と敵対の半世紀』（編著）御茶の水書房、3 月
書評 柳沢遊『近きに在りて』第 40 号、2001 年 12 月
副島昭一『現代中国研究』第 12 号、2003 年 3 月

-
- 第 106 回 7.14 中田昭一 南京国民政府の公債政策と銀行資本
合評会 曾田三郎編『近代中国と日本——提携と敵対の半世紀』
A 総論・経済史（評者：勝部真人） B 民国期前期（評者：楠瀬正明）
C 民国期後期（評者：布川弘） D 都市史（評者：谷渕茂樹）
第 107 回 11.17 今井航 袁世凱政権の教育政策に関する研究
山越敏寛 『ミラズレビュー』誌上の五四運動
附 歴史の証言者としてのクロウの今日的価値

2002 年

【著書】

- 『中国抗日戦争史——中国復興への路』（共訳）桜井書店、2002 年 11 月
紹介と批評 姫田光義「中国ナショナリズムの形成と動向の分析——その歴史的な
意味を今日の観点から再確認」『図書新聞』2003 年 2 月 1 日

【論文】

- 「清末の預備立憲和日本人」『辛亥革命史叢刊』第 11 輯、2002 年 9 月

-
- 第 108 回 5.18 合評会 秋田茂・龍谷直人編『1930 年代のアジア国際秩序』
評者：西向宏介（1～3 章）、富澤芳亜（4～8 章）、布川弘（9～11 章）
第 109 回 11.8 丸田孝志 太岳・太行根拠地のセレモニーと民俗利用
水羽信男 田中仁『1930 年代中国政治史研究』
——中国共産党の危機と再生』をめぐって
貴志俊彦 大戦下中国における情報工作活動に関する史料と研究
第 110 回 12.21 富澤芳亜 1930 年代の中国における紡織設備の導入

中田昭一 《書評》 笹川裕史 『中華民国期農村土地行政史の研究
——国家—農村社会間関係の構造と変容』

5月 孔祥吉（ハーバード大学東アジア研究センター研究員）が村田雄二郎氏とともに広島大学を訪問、文学研究科歴史文化学講座で講演。講演題目「戊戌維新運動研究と私」

2003年

【論文】

「清末の憲政準備と日本での官制改革論」孫文研究会編『辛亥革命の多元構造——辛亥革命90周年国際学術討論会（神戸）』汲古書院、12月

「海外政治視察団の派遣決定過程と日露講和問題」『広島東洋史学報』第8号、11月

第111回 3.19 中田昭一 1930年代の金融逼迫と商業手形振興策

第112回 10.24 松重充浩 「保境安民」期再考 中国近代東北地域政権論（試論）

9月21日～25日 台湾・中央研究院近代史研究所を水羽信男氏と訪問、学術交流を行う。

11月 桑兵氏（中山大学孫中山研究所）が広島大学を訪問。

2004年

【書評】

耿雲志など『西方民主在近代中国』（中国青年出版社、2003年）『東洋史研究』第63巻第2号、9月

【その他】

「日露戦争と日中関係」『地域アカデミー 2003』（広島大学大学院文学研究科歴史文化学講座公開講座報告書）3月

第113回 6.19 金子肇 《書評》 坂野良吉 『中国国民革命政治過程の研究』

松重充浩 《書評》 小池聖一 『満州事変と対中国政策』

第114回 7.24 土居智典 清末湖南省の新財政機関における人事

丸田孝志 抗日戦争期・内戦期における中国共産党根拠地の象徴
——国旗と指導者像

第115回 10.29 金俊 康有為の文明観

谷瀨茂樹 《書評》 川島眞 『中国近代外交の形成』

11月21日～24日 金子肇・水羽信男の各氏とともに蘇州大学、復旦大学を訪問、学術交流を行う。

2005 年

【書評】

本野英一『伝統中国商業秩序の崩壊——不平等条約体制と「英語を話す中国人」』（名古屋大学出版会、2004年）『社会経済史学』第70巻第6号、3月

奥村哲『中国の資本主義と社会主義——近現代史像の再構成』（桜井書店、2004年）『社会経済史学』第71巻第2号、7月

-
- | | | | |
|-------|-------|--|--|
| 第116回 | 1.22 | 中田昭一 | 南京国民政府における手形取引振興策の展開
富澤芳重 《書評》本野英一『伝統中国商業秩序の崩壊
——不平等条約体制と「英語を話す中国人」』
討論者 曾田三郎 |
| 第117回 | 4.30 | 山腰敏寛 | 中国塩政史研究への卑見と展望——道光朝淮北改票を考察して
丸田孝志 太行・太岳根拠地の追悼のセレモニーと土地改革期の民俗 |
| 第118回 | 6.4 | (近代日本研究フォーラム・広島近世近代史研究会との合同研究会)
藤岡健太郎 | 山東・旅大還付問題と日本知識人の中国ナショナリズム認識
——国際法・外交史学者末広重雄を中心に
曾田三郎 山東鉄道をめぐる日中交渉と日本人主任雇用問題 |
| 第119回 | 9.23 | 中田昭一 | 南京国民政府の鉄道建設と金融
曾田三郎・笹川裕史 《書評》奥村哲『中国の資本主義と社会主義
——近現代史像の再構成』 |
| 第120回 | 10.8 | 新村容子 | 「英夷」像の形成——「事実」と「虚構」
安田峰俊 械闘と遊民の社会——清代以降の華南沿海地域社会史の素描 |
| 第121回 | 12.17 | 土居智典 | 清末における外銷の奏銷について
金子肇 1920年代江蘇省の「軍閥」統治と地方行政 |
-

10月23日～26日 金子肇・水羽信男・丸田孝志の各氏と中国社会科学院近代史研究所を訪問、学術交流を行う。

2006 年

【論文】

「清末民初的政治改革和日本早稲田大学」『蘇州科技学院学報』第23巻第1期、2月

「山東鉄道をめぐる日中交渉と日本人主任雇用問題」本庄比佐子編『日本の青島占領と山東の社会経済 1914-22年』東洋文庫、3月

「中華民国憲法の起草と外国人顧問——有賀長雄を中心に」『近きに在りて』第49号、5月

「清末の立憲改革と大隈重信の「封建」論——他国の政治改革をめぐる自国史認識」張翔・園田英弘編『「封建」・「郡県」再考——東アジア社会体制論の深層』思文閣出版、7月

【書評】

礪波護・岸本美緒・杉山正明編『中国歴史研究入門』（名古屋大学出版会、2006年）『社会経済史

学』第72巻第3号、9月

-
- 第122回 3.10 江沛 近代交通体系の初歩的形成と華北の都市化過程 1881～1937
谷渕茂樹 下関条約締結にいたる李鴻章の外交と清朝中央
- 第123回 3.21 潘光哲 「華盛頓神話」在晚清中国的創造与伝衍
- 第124回 7.22 (近代日本研究フォーラム・広島近世近代史研究会との合同研究会)
宮地英敏 第一次世界大戦をはさんだ日本陶磁器業の構造変化について
布川弘 新渡戸稲造と賀川豊彦の平和運動
——太平洋会議 1931年上海会議を中心に
丸田孝志 時間・民俗・セレモニー
——中国共産党政権・日本傀儡政権の民俗利用と象徴操作
- 第125回 9.23 奥村哲 中国の国民国家化と日中戦争・内戦
——四川省の徴兵問題をを中心に
谷渕茂樹 日清戦争中、講和に向けた清政府内部での
意志決定の過程と、条件についての議論
- 第126回 11.11 黄克武 近代中国転型時代的民主観念
- 第127回 12.23 笹川裕史 日中戦争期における中国の出征軍人家族援護と地域社会
——四川省を中心に
金俊 《書評》汪暉、村田雄二郎ほか訳『思想空間としての現代中国』
-

3月 広島大学大学院国際協力研究科に訪問研究員として来日した江沛氏（南開大学歴史学院）が広島中国近代史研究会で講演。

3月 潘光哲氏（台湾・中央研究院近代史研究所）が広島大学を訪問、広島中国近代史研究会で講演。

12月 黄克武氏（台湾・中央研究院近代史研究所）が広島大学を訪問、広島中国近代史研究会で講演。

10月23日～26日 金子肇・水羽信男・丸田孝志の各氏と南開大学歴史学院を訪問、学術交流を行う。

2007年

【論文】

「中華民国初年の地方制度案策定をめぐる国務院と総統府」『広島大学大学院文学研究科論集』第67巻、12月

「中華民国成立後の憲法案起草と地方制度改革構想」『広島東洋史学報』第12号、12月

【その他】

「第一次世界大戦と日中関係」『地域アカデミー 2006』（広島大学大学院文学研究科歴史文化学講座公開講座報告書）、6月

第128回 7.14 鈴木昭吾 清末、新政期軍制改革における士官教育制度の確立

第129回 9.26 科研（基盤（B））「近現代中国におけるリベラリズム思想の受容と展開」（代表者：村田雄二郎）との合同研究会

第一セッション：(書評会) 水羽信男『中国近代のリベラリズム』

担当者：中村元哉・柳祐輔／司会：村田雄二郎

第二セッション：聞黎明 近年の中国における政治思想史研究の現状と課題

討論者：水羽信男ほか／司会：久保亨

第 130 回 8.1 張楓 戦時日本占領下における華北地域綿織物業の展開
——産地構造と生産組織の再編を中心に

川原絵梨奈 《書評》松田康博『台湾における一党独裁体制の成立』

第 131 回 12.1 日中戦争と農村社会

(近代日本研究フォーラム・広島近世近代史研究会との合同研究会)

丸田孝志 《書評》笹川裕史・奥村哲『銃後の中国社会

——日中戦争下の総動員と農村』

勝部真人 日中戦争下の日本農村

祁建民 地域社会の組織性と国家権力の限界

——多岐にわたる華北農村の権力構造

9月20日～23日 笹川裕史・金子肇・水羽信男・丸田孝志の各氏と北京大学歴史系を訪問、学術交流を行う。

2008年

【書評】

千葉正史『近代交通体系と清帝国の変貌——電信・鉄道ネットワークの形成と中国国家統合の変容』(日本経済評論社、2006年)『歴史学研究』第836号、1月

第 132 回 3.1 増井聡子 青島塩をめぐる外交交渉

第 133 回 5.10 金子肇 《書評》水羽信男『中国近代のリベラリズム』

丸田孝志 抗日戦争期・内戦期における冀魯豫区の中国共産党組織

第 134 回 6.14 松重充浩 《書評》金子肇『近代中国の中央と地方

——民国前期の国家統合と行財政』

水羽信男 リベラリズム研究における民国史

第 135 回 7.26 永見和子 王光祈の思想——初期思想の形成をめぐる

竹元規人 1930年前後中国における「学」をめぐる思想と制度

小野寺史郎 国民政府期における党歌・国歌決定をめぐる政治過程

9月27日～30日 笹川裕史・金子肇・水羽信男・丸田孝志の各氏と四川大学歴史文化学院を訪問、学術交流を行う。

2009年

【著書】

- 『立憲国家中国への始動——明治憲政と近代中国』（単著）思文閣出版、5月
書評等 李曉東 『中国研究月報』第64巻第2号、2010年2月
『日本当代中国研究』2010年10月
熊達雲 『法制史研究』60号、2010年3月
中村元哉 『史学研究』第267号、2010年3月
松下佐知子 「憲法学者としての有賀長雄——曾田三郎『立憲国家中国への始動』
の書評を発端として」『東アジア近代史』第13号、2010年3月
横山宏章・松井直之 『東洋史研究』第69巻第1号、2010年6月
吉見崇 『現代中国』第84号、2010年9月
土居智典 『現代中国研究』第28号、2011年3月

【その他】

「中華民國の誕生と日本人の中国論」『地域アカデミー 2008』（広島大学大学院文学研究科歴史文化学講座公開講座報告書）、3月

-
- | | | | |
|-------|------|---------------------------|---|
| 第136回 | 2.11 | Paul R. Katz | “The Religious Life of a Renowned Shanghai Businessman and Philanthropist, <i>Wang Yiting</i> (王一亭)” |
| 第137回 | 4.25 | 飯塚靖 | 《書評》菊池一隆『中国初期協同組合史論 1911-1928
——合作社の起源と初期動態』
富澤芳亜 《書評》柴田善雅『中国占領地日系企業の活動』
丸田孝志 《書評》高橋伸夫『党と農民——中国農民革命の再検討』 |
| 第138回 | 8.1 | 鈴木昭吾 | 清末新政期における軍制改革——軍事機構の再編整備を中心に
川原絵梨奈 郷土文学論争と『三三集刊』
——1970年代における朱西寧の議論を中心として |
| 第139回 | 8.8 | 陳廷湘 | 中国民衆抗議二十一条運動的走向及原因 |
| 第140回 | 11.7 | 三品英憲 | 毛沢東と民意——中国共産党の支配の正当性論理をめぐる
丸田孝志 内戦期における冀魯豫区の政治動員と権威の序列 |
| 第141回 | 12.5 | (広島近世近代史研究会・史学研究会との合同研究会) | 中村元哉 《書評》曾田三郎『立憲国家中国への始動——明治憲政と近代中国』
コメンテーター 李曉東 |

2月 Paul R. Katz氏（台湾・中央研究院近代史研究所）が広島大学を訪問、広島中国近代史研究会で講演。

8月 陳廷湘氏（四川大学歴史文化学院）が広島大学を訪問、広島中国近代史研究会で講演。

2010年

【論文】

「熊希齡内閣的《政府大政方針宣言》与日本人的中国立憲国家論」陳廷湘主編『“近代中国与日本”學術研討會論文集』巴蜀書社、9月

【その他】

「研究の意義を「問う」ことの必要性和難しさ」『現代中国研究』26号、3月

-
- 第142回 2.6 金子肇 近代中国における国家、都市税制と同業団体
——体系的把握に向けた序説
水羽信男 中国社史問題論戦と章乃器
- 第143回 5.19 川原絵梨奈 外省人作家の文学観とその変遷
——雑誌『三三集刊』（1977 - 81年）時期の朱天心を素材として
- 第144回 6.19 飯塚靖 「満洲」化学工業と戦後中国——峰毅氏の近業を中心に
小野寺史郎 王清穆『農隱廬日記』より見た民国江浙紳士の活動について
- 第145回 10.2~3 20世紀中国における立憲主義と自由（民国史論の会との共催）
基調講演 山田辰雄 政治と政治思想史との間
第1セッション 陳謙平 伝統文化 中国近代政治演變難以逾越的障碍
——中国民主政治失敗的歴史啓示
味岡徹 民国憲政の二つの潮流
コメンテーター：曾田三郎
- 第2セッション 水羽信男 抗戦前夜の中国社会論とリベラリズム
久保亨 同時代日本の中華民国認識
コメンテーター：陳謙平
- 第3セッション 嵯峨隆 国民革命とアナキズム
丸田孝志 国共内戦期の中国共産党根拠地の象徴と権力
コメンテーター：姜良芹
- 第4セッション 姜良芹 吳佩孚与 1920年代的聯省自治運動
高田幸男 民国期教育におけるプラグマティズムと民主主義
コメンテーター：金子肇
- 第146回 12.11 飯島典子 内陸へ向かった閩粵人
中井智香子 香港の公民教育の変遷——通識教育（Liberal Studies）
の高中課程必修化を巡る政策立案過程を中心に
-

10月 陳謙平・姜良芹の各氏（南京大学歴史学院）が広島大学を訪問、広島中国近代史研究会で講演。

2011年

-
- 第147回 3.5 シンポジウム 20世紀東アジアの立憲制——辛亥革命と大正政変
（広島近世近代史研究会・近代日本研究フォーラムとの共催）

小林啓治 立憲国家の多型性——日・中の国制比較による「立憲制」概念の再検討
水羽信男・金子肇 中国憲政史の視界——曾田三郎『立憲国家中国への始動』をめぐって
コメンテーター 有馬学・曾田三郎

第 148 回 5.28 金子肇 《書評》石塚迅・中村元哉・山本真編著
『憲政と近現代中国——国家、社会、個人』

川原絵梨奈 雑誌『三三集刊』研究

第 149 回 10.8 太田出 中国太湖流域漁民と内水面漁業の権利関係
——費孝通の開弦弓村調査との比較から分析する

田沫 溥儀肖像から見る植民地の国家権力の構築

第 150 回 11.26 竹元規人 国立清華大学（南京国民政府期）の特質と学術的地位に関する考察
丸田孝志 《書評》小野寺史郎『国旗・国歌・国慶
——ナショナリズムとシンボルの中国近代史』

2012 年

【書評】

田中比呂志『近代中国の政治統合と地域社会——立憲・地方自治・地域エリート』（研文出版、
2010 年）『歴史学研究』第 888 号、1 月

第 151 回 3.24 曾田三郎 中華民国の誕生と大正初期の日本人
金子肇 人民共和国初期の都市税政と同業団体
——上海の工商業税民主評議を素材に



『吉祥祈願の年画』より